

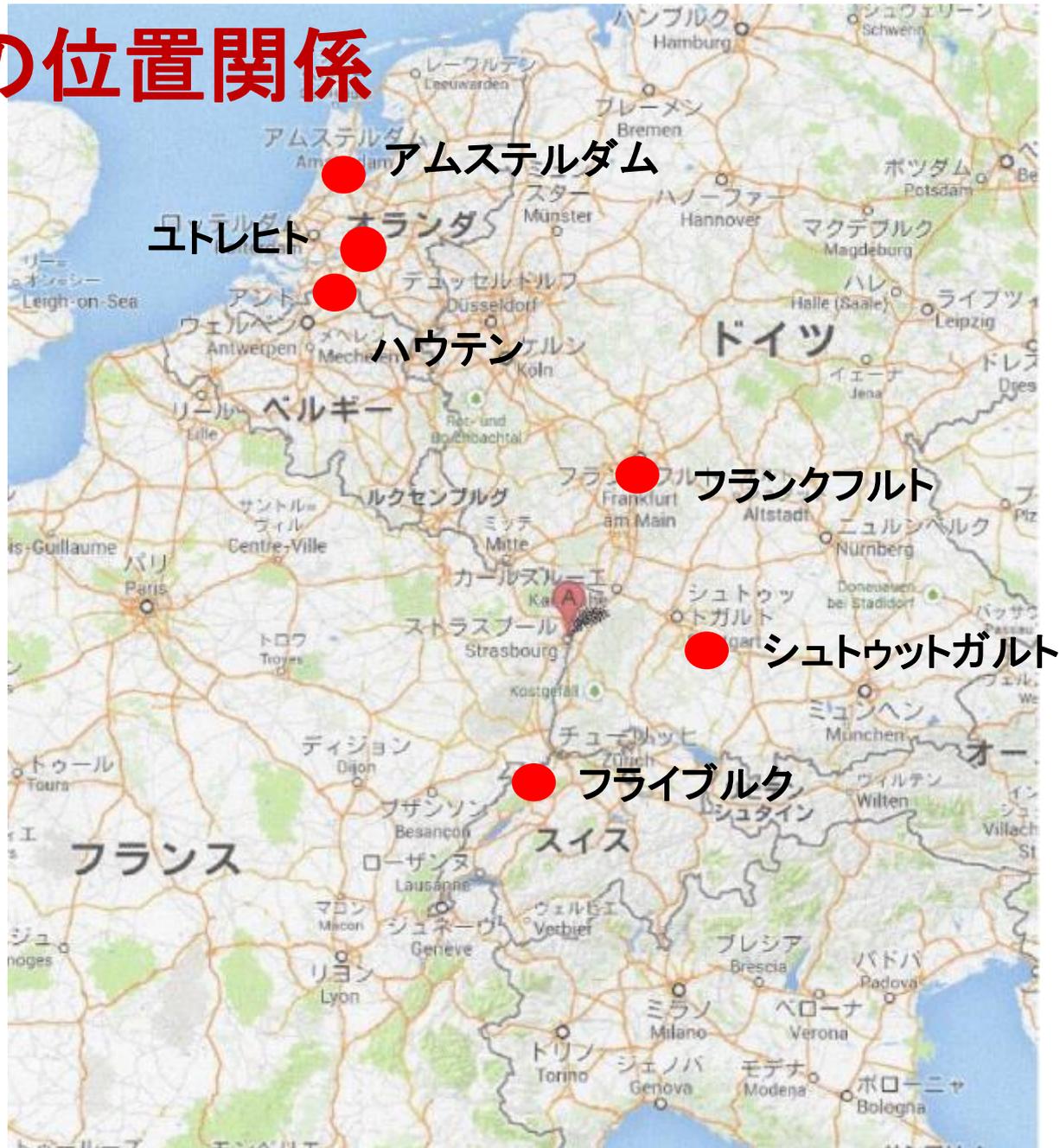
京都府議会海外調査 ドイツ・オランダ調査団 報告

平成29年9月29日

調査団長:秋田 公司

団 員:池田 正義 兎本 和久 藤山裕紀子
中村 正孝 加味根史朗 本庄 孝夫
田中美貴子 北川 剛司 小鍛治義広

調査先の位置関係



欧州調査団 行程とテーマ

ドイツ 8月28日(月)～8月30日(水)

・フライブルク市 8月28日(月)

- 1 「イノベーションアカデミー」/「ヴァルドハウス」/「木造建築」
- 2 「フライブルク観光局」

欧州調査団 行程とテーマ

- ・ビーティツヒハイム=ビツシンゲン市 8月29日(火)
 - 3-1 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」
- ・シュツットガルト市
 - 4 「州政治教育センター」
- ・マンハイム市 8月30日(水)
 - 3-2「風力発電」
- ・フランクフルト市
 - 5 「カリタス 省エネルギーサービス」

欧州調査団 行程とテーマ

オランダ 8月31日(木)～9月1日(金)

・ユトレヒト市 8月31日(木)、9月1日(金)

6 「オランダ労働組合連盟」

7 「アンダンハウス(認知症ハウス)」

8 「認知症モデルハウス」

・ハウテン市 9月1日(金)

9 「ハウテン市役所」

1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」



調査日	8月28日(月)
説明者	イノベーションアカデミー ステファン・リース代表 ヴァルドハウス:マルクス ミラー所長

- イノベーションアカデミー : フライブルグ市の持続可能な開発と環境への配慮について
- ヴァルドハウス : 森林施策について、黒い森視察
- 木造建築視察: ヴォーバン団地、CLT建築

(担当: 池田 正義、秋田 公司)

1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」

フライブルク市の概要

人口:226,000人(うち学生 32,000人)
平均年齢:41.6歳(州内で一番若い都市)
失業率:5.6%
観光客:76万人(2016)
森林面積:42.9% 農地:23.4%

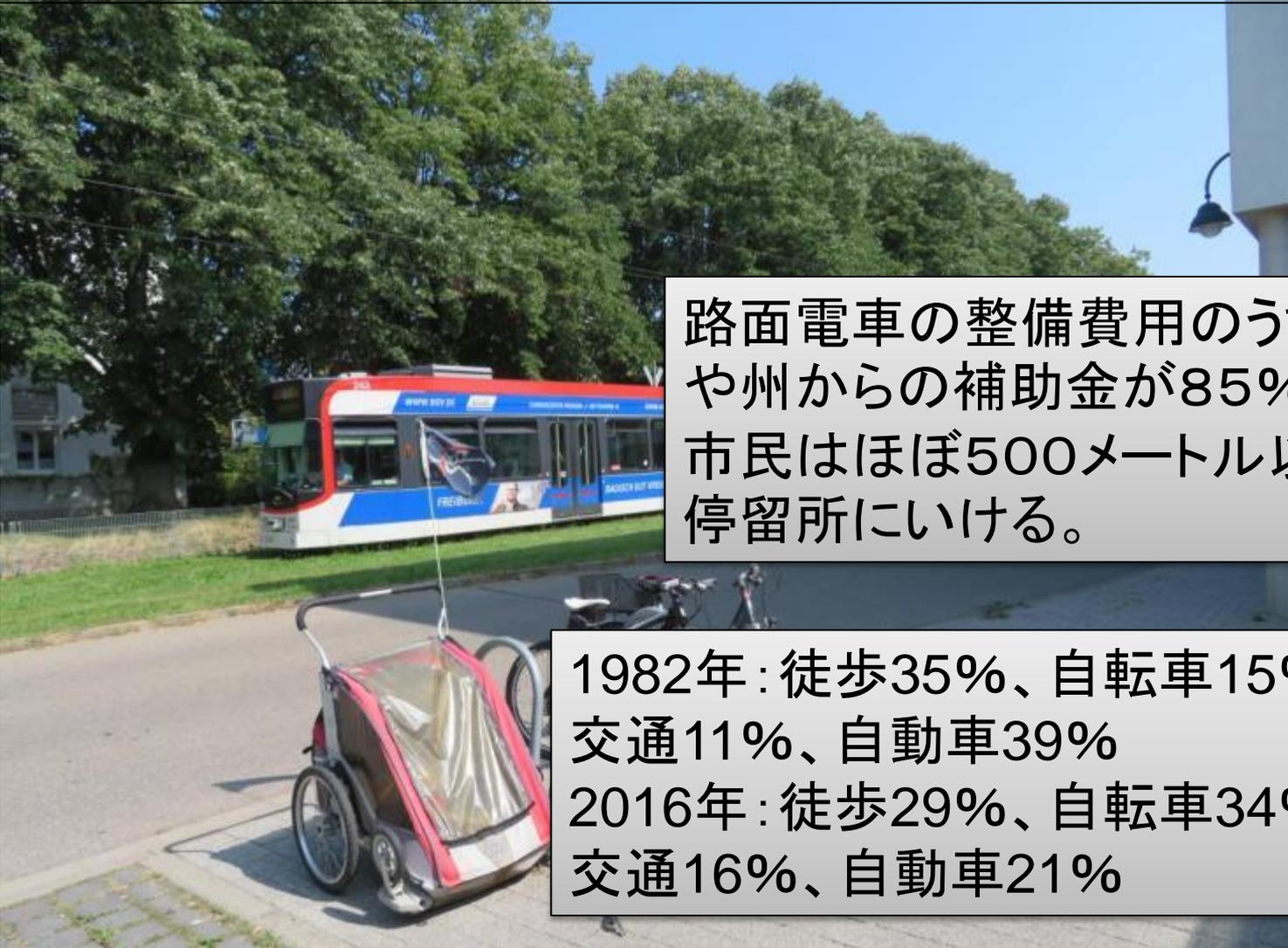
1975年～ 原子力発電所建設反対運動

エネルギー研究の集積、緑の党の結成、
住民意識の向上

環境首都「フライブルク」の誕生



1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」



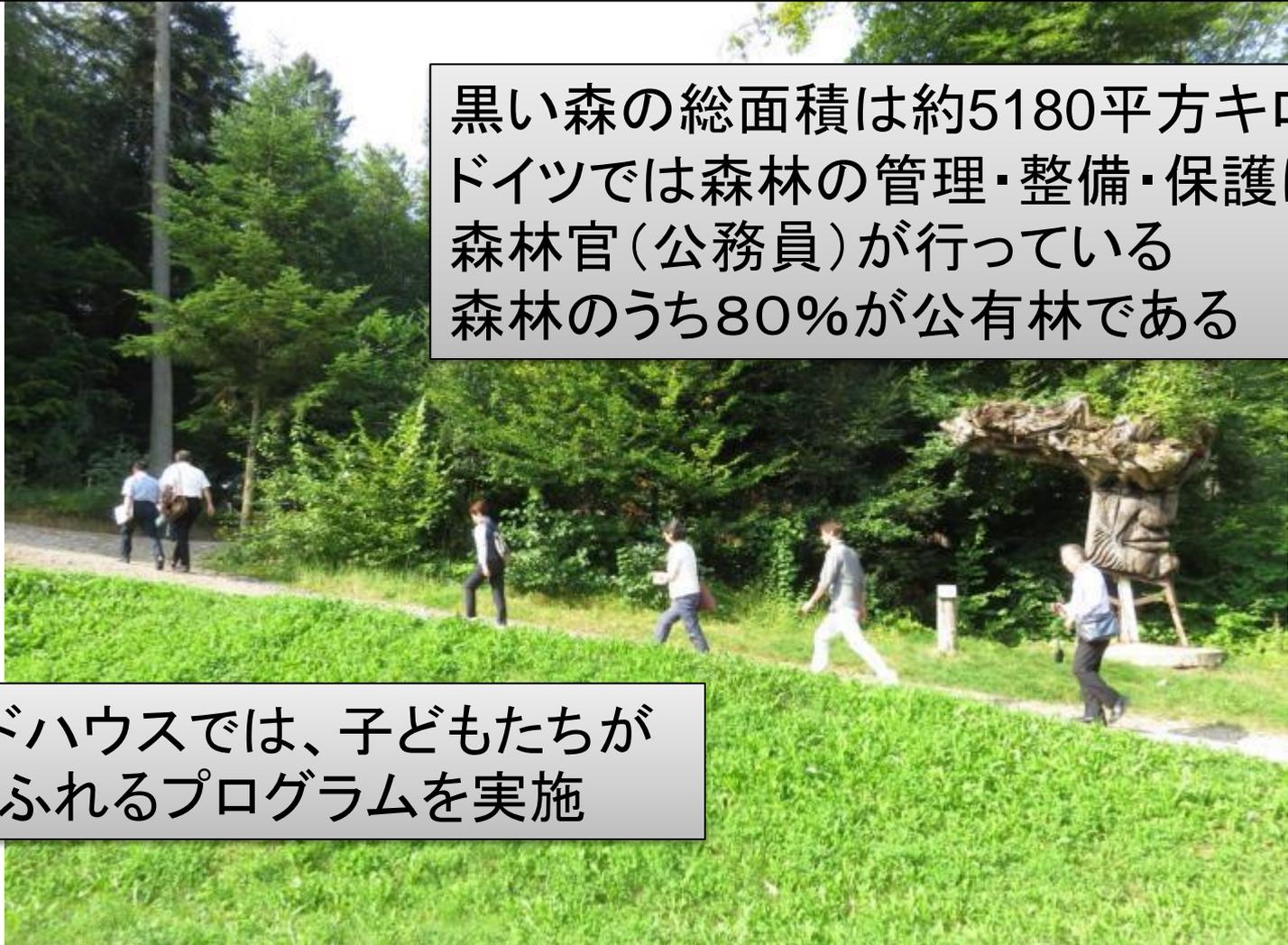
路面電車の整備費用のうち、国や州からの補助金が85%。
市民はほぼ500メートル以内で停留所にいける。

1982年：徒歩35%、自転車15%、公共交通11%、自動車39%
2016年：徒歩29%、自転車34%、公共交通16%、自動車21%

1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」

黒い森の総面積は約5180平方キロ。
ドイツでは森林の管理・整備・保護は
森林官(公務員)が行っている
森林のうち80%が公有林である

ヴァルドハウスでは、子どもたちが
森林にふれるプログラムを実施



1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」

【主な質問】

Q: 太陽光パネルのリサイクル方法は？

→ パネルのリサイクル技術はさまざまなところで考えられている。パネルは約2年で投資額を回収でき、その後約20年は使える。

Q: まちづくりへの議会の関わりは？

→ ヴォーバン地区を例にすると、3つのグループがあり、1つは、市民グループ、1つは建築関係のグループ、1つは、市議会のグループ。議論して決めている。また住民の声を聞かないと次の選挙では選ばれない。

1 「イノベーションアカデミー」 「ヴァルドハウス」/「木造建築」

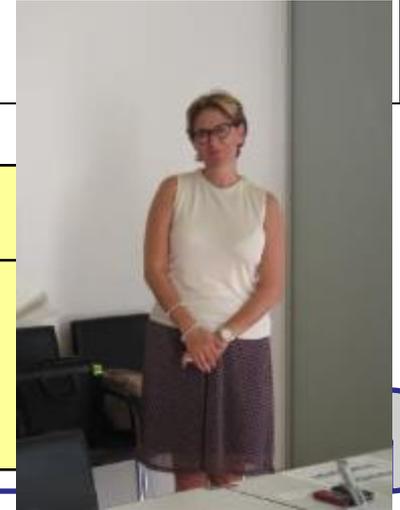
【所 感】

- フライブルクの環境政策
- 森林施策



2 フライブルク観光局

調査日	8月28日(月)
説明者	フライブルク観光局長・マーケティング部長 サビーネ・ウェバー・ローエ氏



- ドイツでは、広域観光ルートの形成・運営において、州レベルのDMOと地域DMOが連携している。
- フライブルクDMOは、地域のDMOであり、フライブルク市が出資する有限会社。
- 観光プロモーションだけでなく、経済振興コンベンションセンターの運営、イベント・見本市開催といった様々な業務を担っている。

(担当: 兎本 和久)

2 フライブルク観光局



フライブルクの年間観光客数:約76万人
(2016年度統計)

観光局は約30年前に
発足。現在は160名の
職員がいる

2 フライブルク観光局



- ・環境・大学のまちとして有名

- ・ドイツの中で日照時間が一番長い

- ・医療(心臓疾患)支援にも力をいれている

2 フライブルク観光局

【主な質問】

Q: 大都市と地方都市の観光地としての差は何か？

→ リピーターに応えて、発想を考慮し、1度目に来ないのはしかたがないが、2、3度目に来て貰えるよう努力するとともに、富裕層に来てもらうこと。

Q: 観光客だけでなく、健康促進や環境に力を入れているが？

→ ベネチアは観光客にとっては一番の観光地であるが、フライブルクは、「住民23万人の人々に、いい気分で生活していただきたい」という理念のうえで、支援している。

2 フライブルク観光局



【所 感】

□ 皆さん、太陽は請求書をおくってきませんよ

3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」



調査日	8月29日(火)
説明者	マネージングディレクター クーブラー氏

○州の省エネルギー政策

州政府環境・気候保護エネルギー省は、2050年までに電気エネルギーの消費を50%削減し、再生可能エネルギーを80%にするとした目標を掲げている。

(担当: 藤山 裕紀子)

3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」



ドイツでは1998年から電力が全面自由化された。電力供給を行うのは、主に地域のシュタットベルケであり、現在でも電力小売りの2割強のシェアを持っていると言われている

SWBB社では、天然ガス・バイオガス・太陽光・水力・木質チップによる電気・ガス・熱の供給の他に水道事業・下水処理・浄水場、プールやアイススケート場の経営も行っている

3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」

SWBB社では、発電時に発生する熱を暖房や風呂などに使用できるように市内に張り巡らされたパイプを通じ、市内の2割、約5000世帯にその供給を行っている。



木質チップが、主な熱源供給源。

3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」

ドイツにおける再生可能エネルギーによる発電のうち、風力によるものは最も多く、総発電量のうち風力発電が占める割合は2014年の9.1%から2015年には13.3%と非常に大きな伸びを見せている。

民間のエネルギー供給会社
のGedea社が操業する6基
の風力発電のうちの1基



3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」

【主な質問】

Q: 停電などはないのか？

→ 大きな停電はない

Q: CO2の排出は？

→ 再生可能エネルギーについてはほぼない

Q: 家庭用と企業用とは価格が違うのか？

→ 価格は変わらない。優先されるべきは個人の住宅

Q: 地域によって価格差はないのか？

→ 激しい競争によって今は大きな差はない

3 「SW-BB(バイオガス温熱供給施設)」 「風力発電」

【所 感】

- 電気エネルギーの消費量削減の可能性
- 地域雇用の創出
- 日本での風力発電の可能性



4 バーデン=ヴュルテンベルク州 政治教育センター ～政治教育～



調査日	8月29日(火)
説明者	コミュニケーション・経営課長 ダニエル・ヘンリック氏

○ドイツの政治教育

- ◆ドイツにおける主権者教育は「政治教育」と呼ばれている。
- ◆政治教育の定義は「民主主義社会における共同生活の基礎を培い、社会に対して責任をもって行動できる良識ある市民を育成し、市民主体の社会をつくるための教育」の実践
- ◆各州に政治教育センターが設置されている。

(担当: 中村 正孝)

4 バーデン＝ヴュルテンベルク州 政治教育センター ～政治教育～

見過ごすことの
出来ない歴史：
国家社会主義ド
イツ労働者党
(ナチス)

政治教育の
必要姓

民主主義・デ
モクラシーの
大切さ

特定の党に
与しない

ドイツ参政権＝18歳

新たな動き

州議会＝16歳へ

4 バーデン＝ヴュルテンベルク州 政治教育センター ～政治教育～

ドイツによる政治教育のガイドライン ボイテルスバッハ・コンセンサス(1976年)

- 1 教員は生徒を期待される見解をもって圧倒し、生徒が自らの判断を獲得するのを妨げてはならない
- 2 学問と政治の世界において議論があることは、授業においても議論があることとして扱わなければならない
- 3 生徒が自らの関心・利害に基づいて効果的に政治に参加できるよう、必要な能力の獲得が促されなければならない

4 バーデン＝ヴュルテンベルク州 政治教育センター ～政治教育～

【主な質問】

Q: 教師であれば、「私はこういう意見を持っている」と紹介することが出来ると思うが？

→ 人間としての意見は表明してもかまわないが子供たちが自分なりに自分の意見である一つの価値観を産み出すように指導しなければいけない

Q: 先生の教育は州として義務化されているのか？

→ 自由参加である。

Q: 政治教育のカリキュラムは？

→ いまの大きなテーマは難民問題。教育カリキュラムの中に年代に応じた政治教育を組み込んでいる。

4 バーデン＝ヴュルテンベルク州 政治教育センター ～政治教育～

【所 感】

- 何のために政治の教育が必要か？
- 日本の主権者教育



5 カリタス 省エネルギーサービス ～低所得者向け省エネ・節水事業～



調査日	8月30日(水)
説明者	カリタス会エネルギーアドバイザー兼所長 クリーバー氏 アドバイザースタッフ ロペス氏

- ドイツでは、国、州、市をあげて省エネ・節水事業に取り組み、160自治体で取り組んでいる。その推進母体がカトリック系福祉事業団体のカリタス会である。
- 省エネ・節水事業の対象は低所得世帯である。

(担当:加味根 史朗)

5 カリタス 省エネルギーサービス ～低所得者向け省エネ・節水事業～

2005年～国において省エネ・節水などエネルギー節約のサービス事業開始

低所得世帯や生活保護世帯、失業者、学生などが対象

2008年～節約器具の無料貸出事業開始。
フランクフルトでは4万5千の節約器具を個人宅に取り付けている



5 カリタス 省エネルギーサービス ～低所得者向け省エネ・節水事業～

事業の4つの大きな意義・要素

1 社会教育的見地

2 社会福祉費の抑制

3 CO2の抑制

4 教育的見地



5 カリタス 省エネルギーサービス ～低所得者向け省エネ・節水事業～

【主な質問】

Q: 失業者へ仕事を提供する目的もあるのか、省エネ事業に対してカトリック教会からの助成はあるのか？

→ 失業者の仕事には省エネアドバイザーの仕事だけでなく色々ある。カトリック連盟からの助成はあまりないので、自分たちで活路を切り開いている。

Q: 国からの省エネ製品の補助は今後も継続されるのか。自治体の補助はどうか？

→ 2019年まで国が補助を出すことになっている。自治体の補助は、市によって額が違う。

5 カリタス 省エネルギーサービス ～低所得者向け省エネ・節水事業～

【所 感】

□ドイツの国の政策（脱原発、再生可能エネルギーの拡大と省エネ対策の取り組み、CO2削減と温暖化防止対策）

□民間のカトリック系福祉事業団体のカリタス会の取り組み



6 オランダ労働組合連盟 ～ワークライフバランス・働き方改革～



調査日	8月31日(木)
説明者	オランダ労働組合連盟 婦人部幹部 アンヤ・ウエースマン氏 ケリー氏

オランダでは、1980年前半に労働需給が急速に悪化し、失業率も14%に達したが、1983年の「ワッセナー合意」により、ワークシェアリングが普及。それに基づくパートタイム労働や臨時雇用を促す政府の政策により、失業率が次第に低下し、女性の労働力率も急速に高まった。「週3勤務」や「週4勤務」という形が珍しくない。

(担当:本庄 孝夫)

6 オランダ労働組合連盟 ～ワークライフバランス・働き方改革～

オランダの労働状況

就職率：女性：71%、男性：82%

一週のうち2～3日働く女性が多く、男性は4～5日働くことが多い

最低生活額（一ヶ月）：937ユーロ19セント

政府関係では30%が女性のトップ

大学などの学術者である教授やドクターは18%を占めている



6 オランダ労働組合連盟 ～ワークライフバランス・働き方改革～

2017年度：世界の幸せな国ランキング6位（日本：51位）

「年間の労働時間」1位（1381時間）（日本：20位（1745時間））

一人あたりGDP13位（日本24位）

労働生産性11位（日本は19位）



6 オランダ労働組合連盟 ～ワークライフバランス・働き方改革～

【主な質問】

Q: 非正規雇用の賃金水準は正規雇用に対して、日本では56.8%、オランダでは78.8%と非常に高いがどうしてか？

→ 正規であっても、非正規・契約雇用であっても1時間の賃金はCAOが結ばれていれば同じである。現在は、非正規・契約雇用がほとんどである。

Q: ワークライフバランスで何が課題か。賃金を上げることか、保育所の整備か？

→ 一番問題にしているのは女性が仕事に就くことである。

6 オランダ労働組合連盟 ～ワークライフバランス・働き方改革～

【所 感】

- 世界一子どもが幸せな国
- 女性の権利を推進する政策



7 アンダンハウス ～ユトレヒト市の認知症対策～

調査日	8月31日(木)
説明者	ユトレヒト市役所 Senior Beleidsadviseur ヨーセ・ジェルテス氏 アンダンハウスコーディネーター ジェローエン・ウィヘルム氏



○ユトレヒト市では高齢者をより長く社会のメンバーとして活動できるよう、高齢者本人、その家族、知人、友人が結束して機能することに重点を置いている。

○認知症の人を中心とした集まりの中で、問題点を共有化し、認知症が深刻化しないように取り組みを進めている。

(担当: 田中 美貴子)

7 アンダンハウス ～ユトレヒト市の認知症対策～



アンダンハウスとは

オランダのAWBZ法(特殊ケア一般法)
の改正

7 アンダンハウス ～ユトレヒト市の認知症対策～



ユトレヒト市の認知症患者の現状、
一般的な過ごし方

ボランティアの関わり



7 アンダンハウス ～ユトレヒト市の認知症対策～

【主な質問】

Q:この取り組みに関わっている方の数は？

→ユトレヒト市の人口が37万5千人。そのうちの40%の人たちがボランティア。常時3,000人の人が活動されている。

Q:オランダの介護段階はどのようになっているのか？

→2015年の改革以降は、4～8という段階になり、以前の1～8という段階は廃止をされた。施設入所が出来るのは、5段階から。

7 アンダンハウス ～ユトレヒト市の認知症対策～

【所 感】

- 認知症を社会で支える仕組み
- 日本とオランダの違い



8 認知症モデルハウス Model Woonwijk



調査日	9月1日(金)
説明者	ウィレム・バステイン氏

○ユトレヒト市が設置した認知症モデルハウスは、北欧から発祥したもので、介護の技術を更に発展させるために設置された施設。高齢者をより長く社会のメンバーとして活動できるよう、高齢者本人、その家族、知人、友人が結束して機能することに重点を置いている。

(担当:北川 剛司)

8 認知症モデルハウス Model Woonwijk

認知症モデルハウスの役割

認知症患者の住宅のあり方

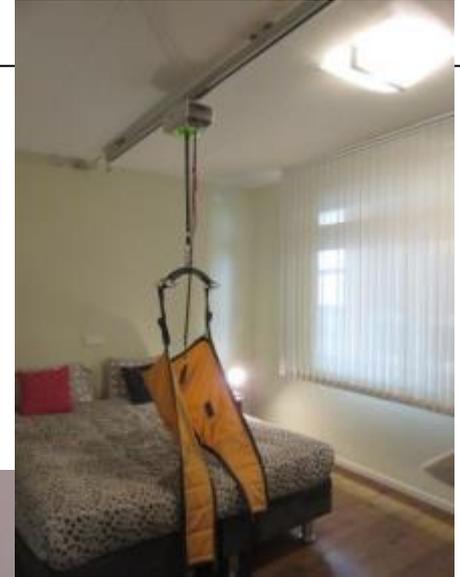
オランダの住宅文化



8 認知症モデルハウス Model Woonwijk

オランダでの認知症発症者の暮らし方

住宅設備の考え方



8 認知症モデルハウス Model Woonwijk

【主な質問】

Q: 認知症発症者に関して、施設に入るまでの生活で最終的にモニタリング、もしくは行動を見守るしか対応方法はないのか？

→ 認知症を発症された人が、いかに最後まで気持ちよく過ごせるかに関しては、支援や資金がほとんど使われていないのが現状である。現在のオランダでは、認知症発症者の約80%の人が自宅で暮らし続けている。また、その人たちは、自分自身の80%能力を使って生活しているが、残りの20%のことはできない。できる80%のことを最大に生かし生活することが重要だ。

8 認知症モデルハウス Model Woonwijk

【所 感】

- 日本とオランダの認知症発症者に対する支援の違い
- 日本の住宅設備



9 ハウテン市 ～自転車交通施策～



調査日	9月1日(金)
説明者	ハウテン市 アンドレ・ボーダーマン氏

○ハウテン市は「環境にやさしい街」また「自転車の街」として世界的に有名であり、その取り組みは1960年代から始まった。

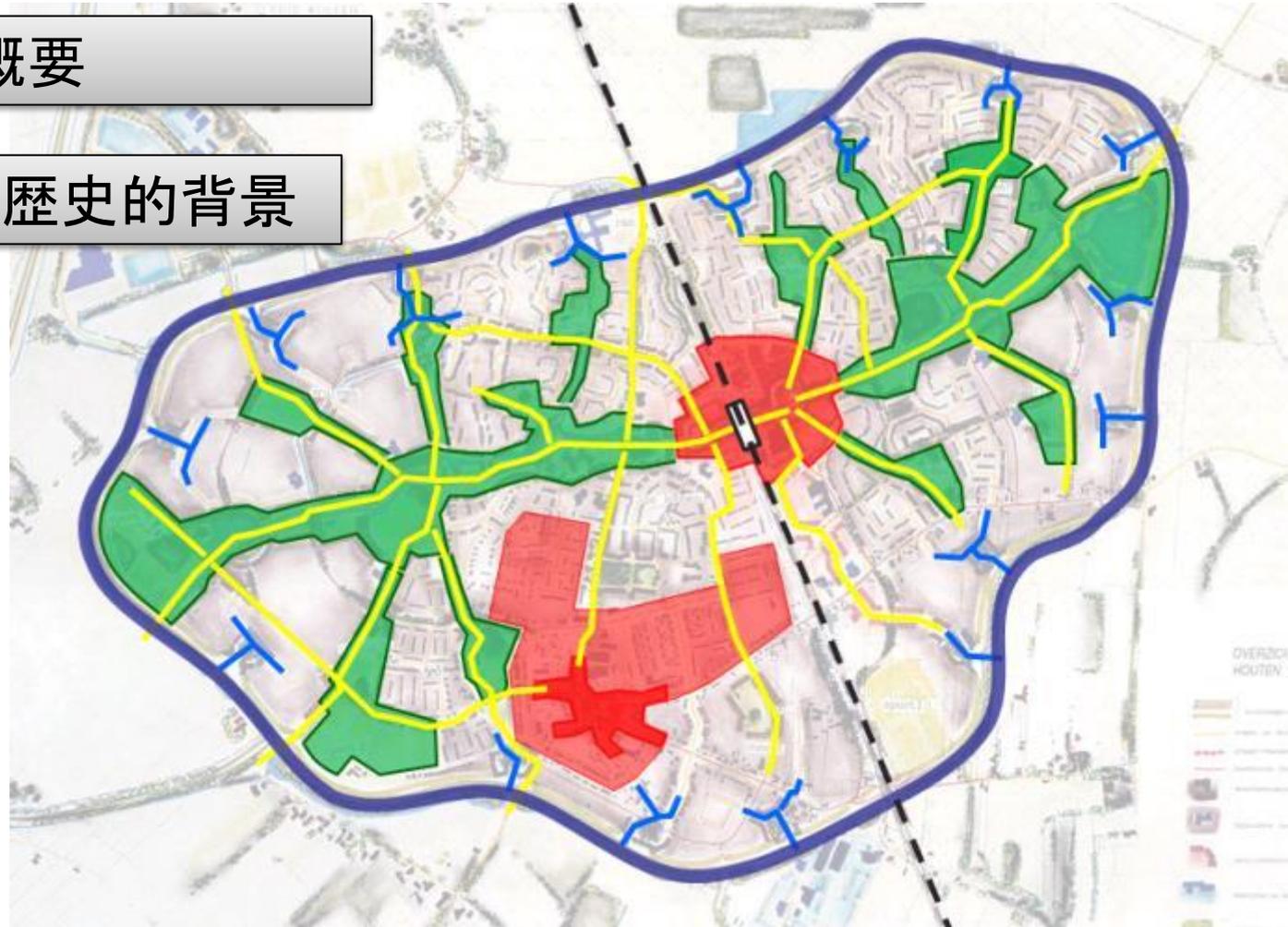
○2008年に、オランダの「Bicycle-city」に認定された。

(担当:小鍛治 義広)

9 ハウテン市 ～自転車交通施策～

ハウテン市の概要

自転車のまちの歴史的背景



9 ハウテン市 ～自転車交通施策～



環境にやさしいまちづくり

整備された自転車道

9 ハウテン市 ～自転車交通施策～

【主な質問】

Q: 緊急時の車両の対応は？

→ 警察・消防・救急車などの緊急車両は自転車道路を使えるようになっている。また、現在オランダでは、警察・救急はオートバイを使うようになってきている。

Q: 「自転車の街」を作っていくにあたり、住民の反対があったか？

→ 反対するものは誰もいなかった。計画当時にもし50,000人の住民がすでにいたなら、住民合意を得るのは、とても難しかったと思う。

9 ハウテン市 ～自転車交通施策～

【所 感】

- 自転車のまちづくり
- 環境教育



ドイツ・オランダ調査団 まとめ

